

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染症の状況が現状のままであれば、来客数、外出機会の増加等に支えられて、好況が継続する。
	◎	乗用車販売店（販売担当）	・人流の制限緩和を当社は歓迎している。これからの紅葉時期、年末、正月休みに向かって、観光事業が良くなるのが、当社にとって一番良いことである。多分、今がどん底なので、これからどんどん良くなるのではないかと。
	◎	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・今年の忘新年会シーズンは、団体の宴会や二次会などで動きがあると予想している。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門はこのままの推移で、年末年始に向けて料飲部門の会合等が動くことを願って、良くなるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・11～12月の間は、全国旅行支援やその他割引があるので、やや良くなる。
	○	コンビニ（店長）	・全国旅行支援の開始もあり、来客数が増えてきている。
	○	衣料品専門店（統括）	・これから年末年始に向けた商材がいろいろ販売されるので期待している。例年のように、歳末の買物があるとよい。
	○	家電量販店（店員）	・商材価格の値上げが問題なく客に受け入れてもらえれば、単価が上昇した分は伸びが出るかもしれない。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・現状、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、経済活動、人の動きは鈍い。ただ、購買意欲はやや戻りつつあるので、特に、税金が上がるとか世の中のネガティブな情報がない限りは良くなる。
	○	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・学校行事や景気刺激策となるイベントが、3年ぶりに開催されると耳にするようになってきている。人の動きが出てきて、このままこの状況は続くと考え。世界的な円安のため、仕入価格について、年内は維持できそうだが年明けの予測はできない。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・他県からの来客が増加傾向で、各種イベントも再開し始め、これまでとは人流のムードが違っていると感じている。客の表情も明るくなってきている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・全国旅行支援の支援金がどこまで貰えるかで、売上は変わってくる。
	○	都市型ホテル（総支配人）	・年内は全国旅行支援の影響もあるので、好調を維持できそうな予約状況である。
	○	旅行代理店（従業員）	・良くなるが国の施策に振り回されて、手間だけが掛かり、効率は悪い。
	○	タクシー（経営者）	・夜の動きは良くないが、昼の動きが良くなってきたので、この先も良くなるのではないかと。
	○	テーマパーク（職員）	・全国旅行支援の継続に合わせて、訪日外国人の増加も期待できることから、新型コロナウイルス感染症の発生前の水準に回復すると思われる。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・為替が円安から抜けられない。ウクライナ情勢が回復し、物価の高騰が落ち着いてくるのを待つより仕方がない。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、全国旅行支援も12月20日前後まで継続する見通しのため、2か月先まではやや良くなる。しかし、12月末から新型コロナウイルスの感染状況が厳しくなったり、補助金なしで旅行する方が増えてくれるのか等、不安要素はつきない。そのため、3か月後の景気は悪くなる方に振れると考え、2つの評価を相殺して、変わらない。
	□	百貨店（営業担当）	・外出機会の増加に伴う来客数増加は期待できるものの、物価高に伴う消費の停滞が懸念される。依然として、今後の新型コロナウイルス感染症の状況もリスクとして残っており、先行きが不透明であることに変わりはない。
	□	百貨店（店長）	・生鮮三品や医薬品等の生活必需品については、新型コロナウイルス感染症の発生前まで回復しつつある。ただし、ファッション等は厳しい状況が続いている。
□	スーパー（総務担当）	・円安の影響もあり、大きくは変わらない。	
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、生産台数が以前の90%前後で推移している。その内約50%が輸出である。円安のため為替差益は出るものの、海外サプライヤーからの部品調達では為替差損となるので、頭を悩ませている。	
□	乗用車販売店（従業員）	・各部材等の高騰で値上げが続いているなか、販売にも影響がみられる。受注状況の内容が変化しているようである。	

□	住関連専門店（仕入担当）	・各商材群の値上げのピークといわれている10月が過ぎ、消費者の購買実感として、今後は顕著に表れてくる。数年抑えてきた行楽レジャーへの支出は増え、それ以外の支出は当分下がる見込みで、計画している。
□	その他専門店（総務担当）	・この先の見積依頼が少ない。
□	旅行代理店（所長）	・全国旅行支援は、既に支援金が枯渇している自治体もあると聞いているので、いつまで続くのかにも左右されると考えるが、現状では12月下旬まで、何とか安定的な旅行支援の継続を求めたい。
□	タクシー運転手	・今しばらくは、景気の悪い状態が続きそうである。
□	通信会社（社員）	・やや悪くなる要素も少しあるが、変わらないのではないかと。今後、物価上昇に対応できる人とできない人が顕著に出るのではないかと考えている。企業の社員給与への反映には限界があるので、国としての対策を期待している。
□	通信会社（営業担当）	・外国人観光客の増加により、一部では売上増加が見込めるものの、全体的な景気回復までには至らない。
□	通信会社（総務担当）	・業界の縮小傾向は変わらない。
□	通信会社（局長）	・地域のイベントや全国旅行支援等が展開されているが、諸物価高騰等の要因により、景気が良くなる兆しは見えない。
□	ゴルフ練習場（経営者）	・全国旅行支援は一時的なもので、支援が終われば悪くなりそうである。
□	競輪場（職員）	・物価高騰もあり、全国旅行支援等が始まったが、遊興費に回る支出が今後どうなるかは不透明である。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・年末に向けて、消費意識の向上に期待するものの、良くなる材料が見当たらない。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（従業員）	・何も変わらない。
□	設計事務所（所長）	・一時的な景気回復はあるが、価格高騰や円安の影響等で好景気は続かないのではないかと。
□	住宅販売会社（経営者）	・不動産は、良い立地条件の物件には引き合いがあるものの、最終的には価格の問題もあり、なかなか成約には結び付かない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・しばらくは積極的なアプローチをしても成果が見込めないのではないかと。生活に支障を来す恐れがない限り、リフォームは後回しになる。
▲	商店街（代表者）	・新商品の開発を試みてもイベントを企画しても、効果が薄い。物価の高騰を払拭しない限り、先行きは不透明である。
▲	一般小売店〔青果〕（店長）	・光熱費等やその他食品、ガソリン等、全てが値上げされ、家計がひっ迫しているため、余計な物は買わなくなる。
▲	百貨店（営業担当）	・経済状況や世界情勢の不透明さが解消される兆しはなく、消費者の不安心理が購買意欲をそいでいる状況は変わらない。
▲	スーパー（商品部担当）	・値上げラッシュが落ち着かず、年末向けの商談を実施していても、良い話が聞こえてこない。生活必需品、燃料代等の需要が増える時期なので、食料品への支出は厳しくなりそうな感じがする。
▲	コンビニ（経営者）	・全国旅行支援が始まったが、コンビニには直接の効果はなく、景気回復を待つばかりである。新型コロナウイルスの感染第8波が起きて、外出が制限されないことを祈っている。円安による包材等の値上げと電気代の高騰で、今期決算は赤字計上となっている。来期も人手不足による人件費の高騰等が加わる。経営の厳しさを実感している。
▲	コンビニ（経営者）	・コンビニは夏より冬の方が売上は下がるため、やや悪くなる。
▲	コンビニ（店長）	・多くの商材で次々と価格が上がっているため、客の購入行動は、ますます大型店や割安店へ移動するだろう。
▲	住関連専門店（店長）	・賃金アップもなく、コスト削減しか対策がないため、売上増加は見込めない。
▲	一般レストラン（経営者）	・円安の影響等で更に物価が上昇すれば、単価も来客数も減っていく。ますます貧富の格差が広がるのではないかと。
▲	一般レストラン（経営者）	・今後も値上がりはあると聞くが、当店のよう小さい個人店では原材料が値上がりするごとに値上げはできない。利益は減ってしまうが、顧客を減らすことは避けたいので仕方がない。

	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・食材費、経費、人件費の上昇はしばらく続き、更に収益面を圧迫するとみられる。取引条件見直しの進捗状況によっては、採算確保が難しくなり、撤退も視野に入れた交渉が必要になってくるのではないかと懸念される。
	▲	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第8波が来るとか、ワクチン接種の4回目や5回目といった異常な状況では、良くなるはずがない。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は全国旅行支援の恩恵を受け、販売可能な1室当たりの収益が過去最高の9000円台を記録しそうではある。一方、人員不足によりレストランでは休業日を設けざるを得ず、機会損失が100万円程度ある。また、収入の柱である宴会需要は、前年は超えているものの、当地ではまだ戻りが鈍く、月3000万円程度での推移が年明けまで続くため、やや悪くなる。
	▲	旅行代理店（経営者）	・全国旅行支援が終了するため、やや悪くなる。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・インフレの影響が、支払だけではなく売上にも出てきている。
	▲	美容室（経営者）	・物価上昇が響いて、美容等への支出は真っ先に節約対象に挙がっている。売上は期待できない。
	▲	美容室（経営者）	・「がんばろう！商店街事業」の取組が始まるが、急速にインフレが進む反面、デフレマインドは相変わらず根強いので、経済効果は一時的なものだろう。給料に反映されぬまま国民1人当たりの労働分配率が低いことを、政府は認識しているのだろうか。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・円安傾向が収まらない限り、物価高感が拭えない。時系列で影響の出してくる可能性はあるので、悪くなる要因が多い。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・政府が思っている以上に、国民の生活は疲弊している。このままでは、中小企業はかなり厳しい状況になるのではないかと。
	×	コンビニ（経営者）	・現状、客が全く来なくなってしまうのが悪くなる理由である。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染第8波の兆しが見えるような状況で、ますます客が出てこない。当店の顧客が高齢者ということもあり、自己保身のために出てなくなっている。将来的にも、安心安全を担保できるような具体的な政策を、早めに出してほしい。
	×	家電量販店（営業担当）	・海外情勢が不安定で半導体関連が入荷しないため、更に悪い影響になると予測する。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・今後2～3か月では米国の利幅が縮小しないと思われるので、円安が落ち着いて景気が良くなるとは考えられない。
	×	通信会社（経営者）	・円安による仕入コスト高で、利益がますますひっ迫している。中小零細企業は、大手のように一方的に販売価格に転嫁できないのが現状である。この状況で、人件費を上げるとするのは人員整理をしろと言っているのと同じで、失業者が増えて労働環境も悪化する。これでは日本経済は悪化の一途としか言いようがない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・年末に向かって、多少良くなると見込まれる。
	○	社会保険労務士	・以前より人の動きは良くなっている。政府の経済対策に期待したい。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・納入件数は多く、生産量が増加傾向である。今後、収益も改善されると思われる。
	□	金属製品製造業（経営者）	・将来のことは分からないので、とても不安である。
	□	金属製品製造業（経営者）	・取引先の事業予測によると、変わらない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・年末からサプライチェーンの問題も徐々に解消され始め、顧客から内示どおりの納入を見込んでいるが、正直、信じられる情報なのかどうかは分からない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・正直なところ、全く予測ができない。取引先自体も受注量が読めていないと思うので、変わらないとしている。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・10月は若干良くなはったが、2～3か月先は良くなるのか悪くなるのか、販売量、受注量、取引先の様子等からも、まるで分からない。

	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはまだ、新型コロナウイルス感染症の影響が残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・今後、暖房家電や冬物寝具等の季節商材の物量が増える予定である。しかし、燃料コストの上昇も続いており、利益は薄くなりそうである。
	□	経営コンサルタント	・ウクライナ戦争とコロナ禍による様々な影響は、根本的に解決されていないので、地域経済の基本的な活動は今と変わらない。
	□	司法書士	・数字上に表れるほどの変動はないため、いつも変わらないというような回答になっている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・12月の注文書が来たが、現状では11月の3分の1くらいに落ちている。これから先の見通しが暗くなるような気がする。来月に1月分の注文がどのくらい入るかによって変わるが、ちょっと厳しいかもしれない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・主力製品については、年内の生産計画は順調に推移する予定だが、年明けの第4四半期は、第2～3四半期と比較して生産数が落ち込む計画となっている。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・自動車のエンジン部品を製造しているが、EV化により受注減が見込まれる。
	×	建設業（開発担当）	・建設業を営んでいる企業である。公共工事主体で売上の95%を占めている。与党政権の下、公共工事は順調に推移してきたが、コロナ禍の影響で、今期の公共工事発注は前年比10%減である。当社受注も前期比10%減で、今期決算は厳しくなる。建設業は10年来の不況業種のため、新入社員が建設業を避けており、年々社員の高齢化が進んでいる。今後一番の問題は魅力ある企業作りである。
	×	建設業（総務担当）	・とにかく工事量が少なく、この先も増えてくる兆しがない。
	×	不動産業（管理担当）	・今後も、継続取引先に値上げ交渉をしていき、利益確保を目指す。燃料や資材価格の値上げ、時給アップによる人件費や社会保険料などの増加額が大きい。長年の取引先でも、金額交渉で圧倒的に安い他社へ乗り換えられてしまう等、いまだ低価格を求める取引先もあるため、売上の増加には困難が予想される。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・今は紅葉の書き入れ時で、観光客なども大分動いているが、時期的には年末年始までで落ち着く。これまでと比べれば、新型コロナウイルス感染症の影響も減って、前年同月と比べても、2～3か月先は大分良くなっていくのではないかと。
	□	人材派遣会社（社員）	・派遣求人については、人材不足が改善していないため、依然として求職者が選択できる状況が続いている。ただし、近隣では新型コロナウイルス感染症拡大により自粛していたスポーツや音楽イベントの復活等、人が集うイベントが増えてきたため、観光産業の復活と合わせて期待したいところである。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人は、コロナ禍前と比べても上回る状況がみられ、堅調に推移している。ただし、収束がみえない新型コロナウイルス感染症や、各種原材料、燃料、光熱費等の高騰や円安進行等、企業及び雇用に与える影響が懸念される。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	・物価上昇で厳しい状況だが、政府による総合経済対策もあるので、少しは好転することも考えられる。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・観光地関係では、秋なので動きは目立っていたようである。引き続き、観光地等は購買力が上がり、人出も多くなるだろう。ただ、公共料金、電気料金、ガス、ガソリン等の値上がりがあるため、やや控えめなところも出てくると思うし、季節商材も定着しているようで、購買力はさほど伸びていないようである。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・人材を募集しても求職者が少ない。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・製造派遣の現場では、部品調達が間に合わないため、生産計画が低くなっている。
	▲	職業安定所（職員）	・政府の新型コロナウイルス感染症対策の継続や、米国一辺倒の政府の対応等の方針が変わらない限り、景気は悪くなる。
	×	*	*